

モロッコ革の本

柄折久美子が渡欧して、ベルギーでルリユール(製本技術)を学んだのは、1972年2月から7月、40代前半のころである。その時期の体験をまとめたのが『モロッコ革の本』だ。エッセイ2作目『製本工房から』(冬樹社 1978)を読むと、彼女が筑摩書房退職後もフリーで装丁の仕事を重ね、1970年には、既にその数が350冊を超えていたことがわかる。

彼女は、どうしてブックデザイナーとして多くの仕事を重ねている時期に製本を学び直そうと思ったのだろう。1人の人生が変わる時期に立ち会えることも本書の魅力の一つだが、ここでは、欧州滞在記としてだけでなく、師弟ものとしても楽しめることにふれておきたい。

本書には、チュケール先生とベルフロワさんという二人の師が登場する。「クミコ」が懸命に手を動かして学んだことが、師に認められるエピソードがある。「三か月の勉強でクミコは三年生

の実力がある」(p.191)とチュケール先生が「クミコ」に言う。言葉もつたない状況で、懸命に努力をして、認められた彼女の喜びが、この出来事をどうしても書き残したかった気持ちも含めて伝わってくる。

彼女がベルギーの文化体験で受け取ったもの大きさは、その後日本の製本文化に寄与するために注がれた時間の膨大さが物語っているだろう。その情熱の核が、この本にはあると思う。県立図書館には文庫、大活字本などの所蔵もあるが、写真掲載のある単行本をおすすめしたい。

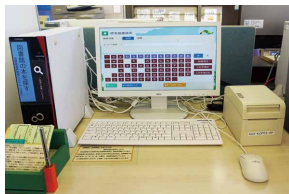
(紹介者 芸術・文学資料担当 松山)



モロッコ革の本
柄折久美子 著
筑摩書房 1975
(所蔵館 久喜図書館 916 ト)

司書がおすすめる、埼玉県立図書館所蔵の本や雑誌、CDなどをご紹介します。

書庫の資料を利用する



図書館内にある、検索用パソコンで資料の書名などを入力し、検索してください。検索結果の一覧で該当資料をクリックし、資料詳細画面を開きます。

「印刷ボタン」を押すと、パソコン横の機械から、資料情報票が印刷されます。



ご不明な点は、お気軽にカウンターまで、お声がけください。



① 画面右上の状態が「貸出可」「禁帯出」となっているものは利用できます。「貸出中」となっているものは利用できません(予約を行います)。※禁帯出のものは館外の貸出はできません。

② 所蔵館が「熊谷」となっているものは熊谷図書館に、「久喜」は久喜図書館に、「外部書庫」は外部書庫にあります。

③ 所蔵館が今いる館の資料の場合
所蔵場所が「〇〇公開」となっているものは、閲覧室内にあります。「〇〇書庫」となっているものは、書庫にあります。「印刷ボタン」を押し、レシート(資料情報票)を印刷して、カウンターにお持ちください。

所蔵館が今いる館以外の資料の場合
「予約ボタン」を押し、予約してください。「予約ボタン」が無いものは、カウンターにお声がけください。

お問合せ:熊谷図書館(電話 048-523-6291)、久喜図書館(電話 0480-21-2659)

